

福島県退職公務員
連盟北会津支部

おもと

第 90 号

発行日 令和 7 年 2 月 22 日(土)

発行者 福島県退職公務員連盟

北会津支部長

成 田 正 良

令和 6 年度秋のつとめ「ステージ発表」

令和 6 年 9 月 15 日(日)

会津若松市生涯学習総合センター

福島県退職公務員連盟北会津支部



(財)日本退職公務員連盟は

- 1 退職公務員の生活を守るため、恩給・共済年金の適切な改善を図ります。
- 2 わが国の理想的な公務員制度の確立を目指します。
- 3 会員の研修を進め、公共の福祉増進に寄与します。

〈設立目的から引用〉

支部長日記

「もう一つの約束事」

福島県退職公務員連盟北会津支部長

成田 正良

〇月〇日、告別式に参列。新入会員になったばかりのZさんが亡くなり、弔辞を読んだ。校長在任時、事務職員として支えていただき感謝あるのみ。亡くなる10日前、余命いくばくかの彼女と私は1時間程会話した。「また来るね」それが2人の最後の約束事になるとは。告別式の日が約束の日だったのだ。

今年度退公連北会津支部では、目覚ましい活動を展開したと自負している。地区を先駆けた活動の数々は、全国からも注目されていると言っても過言ではない。しかし、そうした活動も会員数の増加に結びつかないのが現状である。

実は、弔辞では言えなかったもう一つの約束事があった。「思いはいつか皆さんに伝わります。楽しみにしてます」会員数が好転しない現状不満を語る私に対し、Zさんから逆に勇気の言葉をいただいたのだ。私にとって、貴重な遺言である。もう一つの約束事を果たし、Zさんに届ける日が来るのだろうか。日々希望を持ち、全力で頑張りたい。Zさん、見守ってください。天国から。

秋のつどい「作品展」

令和6年9月15日(日)～16日(月)

会津若松市生涯学習総合センター「市民ギャラリー」



《 受賞おめでとうございます！ 》

「秋のつどい」の『表彰・懇親会』は、「ステージ発表」や「作品展示」とは別に、
10月12日(土)にワシントンホテルで実施いたしました。

津北会連盟公務員退職者県

※ 以下、敬称は省略させていただきます。

傘寿祝賀者 (昭和19年1月～12月生まれ、 本年満80歳を迎えられた方 22名)

3地区 森 武久
9地区 染谷 安彦
24地区 五十嵐勝征
31地区 若杉 儀子
41地区 大沢 輝子
44地区 島影 暎子
52地区 岩澤美保子
52地区 來栖會津子
64地区 長尾 景昱

4地区 目黒 則雄
11地区 小檜山裕之
24地区 五十嵐和子
33地区 柏木 玲子
42地区 菅家ミヤ子
45地区 大関 善壽
52地区 大木 芳孝
58地区 佐瀬千代子

6地区 加藤 紘一
20地区 鈴木 徹
29地区 星 惣平
41地区 大沢 容男
42地区 菅家 進



傘寿代表あいさつ
森 武久 様



受賞者代表あいさつ
滝沢 玲子 様

特別功労者 (役員を10年務められた方 5名)

1地区 長谷川文之
15地区 渡部登代子

14地区 滝沢 玲子
30地区 横倉 英子

60地区 渡部 則一

功労者 (役員を5年務められた方 3名)

9地区 神田 育子

43地区 星 善樹

45地区 馬場 泰

叙勲受章者

(令和5年秋・令和6年春の
叙勲で受章された方 1名)

『瑞寶雙光章』

14地区 滝沢 玲子

(令和5年9月～令和6年8月
高齢者叙勲で受章された方 3名)

『瑞寶雙光章』

53地区 福田 試作
49地区 若林 正一

4地区 渡部 正人

※叙勲受章者につきましては、例年『表彰・懇親会』の
中でお名前をご紹介させていただいております。

[懇親会の様子]



【組織部の活動】

令和6年度組織部活動の大きな目玉は、2つありました。

1つ目は、賛助校訪問で現職の皆さん全員に、北会津支部入会案内パンフレットを配ってもらうようにしたことです。従来は、各校1部配付して回覧という形で見てもらっていました。しかし、現役の皆さんの「退公連って何？」という状態は変わらず、賛助会員数の減少が止まりません。そこで、手元にパンフレットがあれば1人でも2人でも目を通し、退公連を理解してもらえないかと思い、今年度初めて実施しました。

2つ目は、会員の皆さんに「夫婦・親子会員を増やそう」という呼びかけをしたことです。定年退職延長の影響もあり、今年度新入会員はたったの4名でした。8月現在の物故会員と退会会員の合計は27名になり、今年度は23名の会員数減となりました。そこで、この会員数大幅減の流れを少しでも緩和するために、まず一番身近な人の入会を促していこうと考えました。しかし、残念ながら今のところ組織部に、「夫が、妻が、子どもが、入会することになりました」という声は届いていません。まだ、今年度は1か月あります。4月の次年度総会時でも結構です。ぜひ、夫婦・親子会員の加入をお願いしたいと思います。



【年金部の活動】

今年度の年金研修会は、初の会津大学での開催となりました。長らく会津若松ワシントンホテルで行ってまいりましたが、会場費の値上げ（これまでの格安での利用を見直し、本来の価格にしていくもの）があり、その影響は大きく、新会場の選定に迫られていました。

会津大学の大講義室は、駐車場から近く、酷暑の日でも冷房が効いた快適なものでした。受付場所やステージはやや狭いものの、スクリーンは大きくて明るく、階段席になっており、後方の方にもとても見やすい会場でした。

講話1では、県年金部長の秋山時夫さんから、「人生100年時代の公的年金制度」と題し、年金制度の現状や課題、そして今年度実施された年金財政検証の話をしていただきました。財政検証結果の概要については、7月に新聞各社に取り上げられました。

講話2では、会津若松市教育委員会寺木誠伸教育長さんから、「激変する社会と学校教育」と題し、会津若松市として抱える課題とその対応について、細かにお話をいただきました。ご自身の豊かな経験を交えての講話で、とても貴重な時間となりました。



【 女 性 部 の 活 動 】

今年度は、会津連絡協議会女性部研修会の当番支部でした。8月25日（日）河東学園の多目的ホールに各支部より57名が集い、楽しく充実した研修会を実施しました。

講演では、音楽運動療法士の山田直美先生をお迎えし、音楽運動療法の実際を映像で視聴しその効果に驚きました。実技では童謡を歌いながらリズムに合わせて手足を動かし、体と頭をフル回転させ、「笑って歌い、認知症予防に生かせる」と嬉しい感想を頂きました。なぎなたの発表では、会津なぎなた連盟の横倉英子先生から袴の襷と演技の形の説明があり、中学生6名による凜とした立振舞、息の合った清々しい演技は、初めて見た参加者をも魅了しました。退公連のあすなろ合唱団の発表では、他支部にはない混声合唱の美しい響きや全員合唱により、参加者に深い感銘を与えたようです。数年ぶりの昼食会では、地元の農家民宿のお弁当に舌鼓を打ち、手製の胡瓜漬けや喫茶コーナーも好評で、久しぶりの再会を喜び合い、和やかな交流の時間を共有できました。

支部の皆様には、当日の発表や受付、機材の設営・運用、昼食の準備・片付け等にご協力頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。



【 福 祉 部 の 活 動 】

福祉部では、本年度も3つの事業を実施しました。ここでは、10月以降に実施した2つの事業について報告します。

1つ目は、10月3日実施の「親睦旅行」です。今回は25名の参加者を得て、山形方面「文翔館・教育資料館（米沢）^{じふくしやう}、若松寺（天童）見学」を実施しました。当日は、天気にも恵まれ、予定に沿って進めることができました。文翔館では、案内役の方から詳しい説明を受け、明治に生きた人々の気概を感じることが出来ました。若松寺には、戦争や不慮の事故等で亡くなった子の供養のため、「むかさり絵馬」が多数掲げられており、来世で幸福になってほしいという親の願いを感じました。また、移動は中型バスで座席に余裕もあり、ゆったりとした中で歓談を楽しむことが出来たように感じました。

2つ目は、12月9日実施の「ボウリングを楽しむ会」です。24名の参加者を得て、ボウルサンシャインを会場に、1つのレーン3～4名で7レーン使って2ゲーム実施しました。参加者からは、「成績はともかく久しぶりの再会で話が弾んだ」「体力の衰えを実感した」「年々仲間が増えて盛り上がった」などの感想が聞かれました。

次年度も、同様の行事を計画したいと考えていますので、多くの皆様の参加をお待ちしています。



退職後の楽しみ

秦 尚志 (3 地区)

令和4年3月に猪苗代小学校を最後に退職して、令和4年4月から湯川村教育委員会の学校教育アドバイザーとして勤務しています。今年度は、令和4年度から準備を進めてきた「湯川中学校区学校運営協議会」を立ち上げることができました。「湯川中学校区学校運営協議会」では、毎回笑い声がある楽しい雰囲気の中で熟議が行われています。次年度の「湯川中学校区学校運営協議会」がよりよいものになるよう、熟議の進め方や運営上の課題を整理し、次年度に向けての準備を進めているところです。

この3年間、無我夢中で過ごしてきましたが、気づけばあと2年で年金生活が始まります。一抹の不安もありますが、これからの生活を少しでも有意義なものにするために、あまりお金をかけずに長続きするものはないかといういろいろ考え、ドールハウスの制作と市や県立博物館の歴史講座に参加することを始めました。



まず、一つ目のドールハウス制作ですが、不器用な私なので、すべて自分で作るのはいちと無理なので、ドールハウスのキットを購入して楽しんでいます。設計図をも

とに組み立てていけば簡単に完成するだろうと思っていたのですが、やってみると大変難しく、完成までに2～3ヶ月もかかります。

今作っているものは、途中挫折しかかったこともあり、すでに制作開始から1年がたちました。ドールハウスの魅力は、なんと言っても少しずつ小さな世界ができあがっていく、わくわく感です。また、安い予算で長い時間楽しめるのもいいですね。

2つめの歴史講座は、ほとんど費用がかからず、なんと言っても自分が住んでいる街の歴史を学べることがいいですね。また、テーマによっては結構な距離を歩くこともあるので、健康にも良さそうです。

講座で「このあたりが外堀の跡です。」とか

「この建物の歴史は・・・」と教えていただくたびに、街への愛着がさらに増していきます。

ドールハウス作成と歴史講座でリフレッシュしながら、もうしばらく湯川の子供たちのためにがんばっていこうと思います。

(次号は、55地区の山岸 実さんへバトタッチです)



おもと

復活 すもう大会

会津若松市立荒館小学校長 鈴木 基之



本校ならではの伝統。その一つが相撲大会です。優勝者（前は、その年度の横綱と呼んでいたようです）には、トロフィーとメダルが授与されます。本校同窓会の応援によるものです。コロナウイルス感染症の影響で、ここ数年実施していませんでしたが、今年度、5年ぶりに校内すもう大会を開催しました。

本校同窓会の坂内会長さんに相撲の基本を教えていただき、子どもたちは体育の授業で、実際に相撲を学習します。学年ごとに予選を行って、いよいよ決勝。フリー参観日に決勝戦を行い、保護者のみなさんにも披露です。

お互いに体を相手に寄せて押し合う、

最近はこのような遊びはほとんどしなくなったように思います。声援と拍手。決勝当日は、大変な盛り上がりでした。優勝した児童の感想です。「僕と戦った人は負けたのですが、頑張ってくれたので、みんなに感謝しています。」



子どもを「教育」することの難しさを知る

63地区 大堀 昌弘

猪苗代町の学校教育特別

支援員として勤務し、3年目です。週5日、朝8時10分から夕方4時55分まで7時間勤務です。業務としては、主に知的課題を抱えている3名の生徒への支援、その他校長の命じる業務となっており、日々新たな課題に挑戦しています。

河東学園小学校を退職後、私学会津若松ザベリオ学園小学校に3年間勤務し、さてどう

しようかと悩んでいたところ、町の会計年度職員としての応募が目にとまり面接を受けました。面接でお答えしたのは、「町の教育にお役に立てるかどうかが心配ですが、現職のときの勢いと経験に基づく知識はまだあります。子どもたちということで、いつまでも若い気持ちで仕事をしたいです。」といった中身であったように記憶しています。

コロナ禍を経験した学校現場は、不登校やいじめ問題を始め教職員の働き方改革など様々な問題に遭遇しています。残りわずかですが、少しでも教育現場のお役に立てるように精一杯がんばります。



県退公連「福島大会」

事務局次長 小野木 章

令和6年9月5日(木)に県退公連「福島大会」が『パルセいいざか』で開催されました。県大会はコロナ禍で、平成30年度の「安達大会」以来6年振りの開催でした。令和2年度の「会津若松大会」は本支部で準備を進めていたのですが延期になり、令和3年度は中止になりました。令和4年度の「石川大会」も中止になりました。

今年度開催された「福島大会」には、本支部から19名が参加しました。普段お会いすることができない方々との再会などもあり、楽しく参加することができました。大会では、日公連のうたの斉唱、室井勝会長

からの能登半島地震の義援金募金協力への御礼などの挨拶、福島県企画調整部政策監佐藤安彦氏の講演などがありました。

詳しくは県退公連会報第212号をお読みください。

次回(令和8年度)の開催地は会津です。



退公連北会津支部

ホームページ

<https://www.facebook.com/taikouren.aizu>



QRコード

原稿執筆にご協力いただきました会員の皆様方に、心より厚く御礼申し上げます。

た会員の皆様方には厚く感謝申し上げます。昨年の元旦に能登地方を襲った地震は、未だにその爪痕を残し、東日本大震災・原子力発電所事故を経験した私たちは、被災された方々の苦しみや悲しみ、やり場のない怒りを想像するに難くありません。本支部では、会員の皆様から頂いた義援金を送金するなど、被災地支援を行って参りました。日公連女性部では、能登半島の災害に見舞われた会員に「ほっとする時間」を持って頂くことを願って「絵手紙を送る」事を決定し、各県の女性部長に協力を依頼しました。それを受け、県退公連から本支部の湯ノ尻千枝子女性部長に協力依頼がありました。女性部では絵手紙を三部作成して、県退公連を通して新潟県の女性部長宛に送り、感謝の言葉を頂きました。



編集後記

コロナ禍の影響が少なくなり、本支部の活動も滞りなく終了することができそうで、ご協力頂いた会員の皆様方には厚く感謝申し上げます。



—— 海外旅行、国内旅行 ——

- 国際航空券・国内航空券・J R 券の予約販売
 - 海外ホテル・国内旅館・船車券の予約販売
 - 私鉄指定券・観光バス・観光パスの手配全般
 - 修学旅行・遠足旅行
- 全日本旅行業協会 提携店
日本旅行業協会 協賛店
福島県知事登録旅行業第2-109号

昭和観光株式会社

本社 〒965-0817 福島県会津若松市千石町4番6号
TEL (0242) 25-2525(代表)
FAX (0242) 24-2561, 24-2634



祝福の宴

ご婚礼予約承り中!

春のご宴会プラン (90分飲み放題付)	ご宿泊 シングル	8,800円~
お一人様 6,000円~	ダブル	15,000円~
(税金・サービス料込)	ツイン	17,000円~

インターネット予約
http://www.fujita-kanko.co.jp/

会津若松ワシントンホテル

〒965-0024 福島県会津若松市白虎町201
TEL 0242 (22) 6111(代)
宴会直通 TEL 0242(22)6130

